

新春文芸 入選作品発表

「新春文芸」にたくさんのお作品を応募いただきありがとうございました。
審査の結果、次の作品が入選となりました。（入選者などの敬称は省略）
なお、すべての応募作品を載せた作品一覧表は、各地区公民館でご覧いただけます。また、市ホームページにも掲載しています。

短歌

「新春雑詠」 阿部 昌彦・選

●特選

一升餅よや漸くかつぎみどり児はよろめき歩む元日の朝 萩原 智子

【選評】 継がれている風習、みどり児の姿を取り巻く家族の笑顔が浮かぶ。

●佳作

初日の出海輝きて大漁旗ひるがえし船今帰り来る 石栗 嘉一

【選評】 活気のある光景。「海輝きて」の大きさに大漁旗が鮮やかである。

改憲を思うなど吾更に無く七十二年の戦後迎へり 長浜 武士

【選評】 世界、日本の変動の中に「吾更に無く」と作者は姿勢を正す。

来る年も豊作願ひ御礼肥撒きつつ夢追う晩秋の畑 鈴木 昭作

【選評】 晩秋から新年の豊作を願ひ御礼肥を撒く、農を愛する素直な作品。

真つ白な葉ワサビの芽の膨らみて雪解の水も春を告げをり 小野 静江

【選評】 葉ワサビに雪解の水に、春を知る。懐かしさ、喜びが湧いて来る。

俳句

「新春雑詠」 白沢 葉子・選

●特選

新巻をひねもす猫の見上げをり 田中 恵美

【選評】 塩引きは村上の名産、猫も見とれる確かな事実。この作品は新巻を季語としたものである。

●佳作

真つ新を踏み出す一步恵方道

【選評】 恵方は正月神の良き方位、新しく向かう信仰。

鏡餅少しいびつを祝しけり

佐藤 さき子

【選評】 いびつでよい鏡餅の祝詞、手作りの良さが出る。

軍配はどちらに上げる花ハツ手

富樫 慶子

【選評】 葉を軍配としてユニークに、大局から見た一句。

空見んとすつくと立てり冬の薔薇

長 準司

【選評】 寒気極まる青い空に、冬薔薇の心をつかむ。

川柳

「新春雑詠」 川村 雄一・選

●特選

使い切る決意で十年日記買う

平山 守

【選評】 これから十年と言う意気込みがいい。この気持ちを持ちつづけたいもの。

●佳作

春の夢国産力士綱を締め

角田 和平

【選評】 国産横綱はみんなの夢。その日の来るのをみんな待とう。

ランドセル春待つ孫と添い寝する

本間 国紀

【選評】 春が来ると一年生。買って貰ったランドセルを枕元に置いて、どんな夢を見るのだろう。

衣食住足りて求める福袋

菅原 誠二

【選評】 人間の際限のない欲望を誘うように福袋が売れていく。

合格の孫が主役のお正月

高橋 貞子

【選評】 新春を二重の喜びで迎える一家。この上ないお正月である。

●問い合わせ 中央公民館（マナボーテ村上内） ☎53・2446